

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		民生委員推薦会費 [民生委員推薦会事業]									
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 1	社会福祉総務費	事業番号	11			
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	福祉推進		課		庶務		係	課長名	山田 茂人		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 6			
【施策名】 地域福祉の推進							総合計画書 (ページ)	65			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	民生委員推薦会 →				民生委員推薦会委員の出席率 定数14名						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	民生委員推薦会を開き、民生委員・児童委員候補者を選出し、東京都へ推薦する。 →				民生(児童)委員実人数/民生(児童)委員定数 令和元年12月1日一斉改選 56/61(定数) 令和3年4月1日現在 55/61(定数)						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	民生委員は、民生委員法により、市の民生委員推薦会が東京都に推薦し、都の地方社会福祉審議会の意見を聴き、都知事の推薦により、厚生労働大臣が委嘱することとなっている。 →				民生委員推薦会開催回数 0回						
	地域で活動をしている市民から、適正な候補者を推薦するために、民生委員推薦会を開催し、都へ候補者を推薦した。										
3 経費			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	%	82	83	0					
	成果指標	②の数値	%	98.0	92.0	90.1					
	目 標	②の目標値									
		目標値設定の考え方 定数どおり、民生委員を配置する。									
3 経費	活動指標	③の数値	回	2	3	0					
	事業費(実績)		円	177,600	260,400	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	171,000	14,400	0					
		特定財源(国・都・他)	円	6,600	246,000	0					
		(うち受益者負担)	円	0	0						
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1			0.1		
	所要人数(再任用)	人									
	職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000						
職員人件費(再任用)	円										
事業費+人件費		円	1,002,000	1,091,400	838,000						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和23 年度								
	(2) 環境の変化		社会が変化したことにより、民生委員の役割も変化し、また、地域で昼間活動できる方が減少していることから、民生委員推薦会も候補者を選出することが難しくなっている。								

事業名称	民生委員推薦会費 [民生委員推薦会事業]				
担当部署・課長名	福祉推進	課	庶務	係	課長名 山田 茂人

5
市民等の意見

この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

実質的な候補者推薦は現任民生委員からの推薦が多い。民生委員推薦会は推薦のための追認機関となっており、民生委員推薦会から候補者推薦は少なかった。

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☐ 取り組んだ
 ☒ 取り組まない

取組手法：

【取組手法の種類】
 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成
 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

7
課題

(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）

民生委員のなり手が少なくなる中、次の一斉改選(R4)に向けた、候補者選定の方法について検討していく必要がある。

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。

特になし

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

特になし

8

施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： 地域福祉の推進

☐ なっている
☒ 環境の変化等により成果が減少している
☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある
 事業名（ ）

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大
☒ 現状維持
☐ 縮小
☐ 休止
☐ 廃止

【取組内容】
 候補者の選出方法について、新しい方法を考える必要がある。

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

他の自治体での取組みや各種団体からの選出方法等の検討を図る。